2027年３月期　第２四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社ファーストステージ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2985	URL	https://www.1st-stage.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	本田　誠二
問合せ先責任者	（役職名） 取締役管理本部長	（氏名）	藤川　和彦　　ＴＥＬ　06　(6347)　1106
中間発行者情報提出予定日	2026年12月15日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	10,524	21.5	1,221	76.4	892	68.4	561	66.6
2026年３月期中間期	8,660	―	692	―	530	―	336	―

(注)包括利益 2027年３月期中間期　560百万円(66.5%) 2026年３月期中間期　336百万円(　－%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	436.95	416.16
2026年３月期中間期	262.29	249.81

(注)当社は、2026年３月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2026年３月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	24,980	4,470	17.9
2026年３月期	22,303	4,067	18.2

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　4,470百万円　2026年３月期　4,067百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	123.00	123.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期（予想）			―	―	―

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,353	△16.2	639	△49.0	242	△72.1	156	△71.2	121.92

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,484,000	2026年３月期	2,484,000
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,200,000	2026年３月期	1,200,000
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,284,000	2026年３月期中間期	1,284,000

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(セグメント情報等の注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇による家計への負担が続くなか、日本銀行は2026年9月に政策金利を1.25％程度へ引き上げるなど、金融政策の正常化を進めております。また、中東情勢や海外経済の動向、金融資本市場の変動など、景気の先行きには引き続き注意を要する状況となっております。

当社グループが属する投資用不動産市場においては、2026年8月の新設住宅着工戸数が前年同月比6.1％増加するなど、一部に改善の動きがみられました。一方で、建築資材価格や労務費の高止まりに加え、金利上昇に伴う資金調達コストの増加が懸念されており、不動産投資においては物件の収益性や立地条件、将来的な資産価値をより慎重に見極めることが求められております。

このような背景のなか、当社グループは新規顧客層の開拓の他、新たな開発用地やマンションの取得等、投資家ニーズに沿う物件の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は、10,524百万円（前年同期比21.5％増）、営業利益は1,221百万円（前年同期比76.4％増）、経常利益は892百万円（前年同期比68.4％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は561百万円（前年同期比66.6％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産合計は、24,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,651百万円増加いたしました。これは主に、販売用不動産が2,566百万円増加し、仕掛販売用不動産が58百万円、前渡金が196百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産合計は、180百万円となり、前連結会計年度末に比べ、25百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が32百万円増加し、有形固定資産が3百万円、投資有価証券が3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、24,980百万円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債合計は、9,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,230百万円増加いたしました。これは主に、１年内返済予定の長期借入金が3,045百万円、未払法人税等が231百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債合計は、11,073百万円となり、前連結会計年度末に比べ、956百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が975百万円減少し、役員退職慰労引当金が20百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、4,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ、403百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が403百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,377百万円となり、前連結会計年度末と比べ、242百万円増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,527百万円の支出（前中間連結会計期間は3,812百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益892百万円の計上、棚卸資産の増加額2,507百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、3百万円の支出（前中間連結会計期間は5百万円の支出）となりました。これは主に、出資金の払込による支出2百万円、有形固定資産の取得による支出1百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,773百万円の収入（前中間連結会計期間は3,291百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入9,141百万円、長期借入金の返済による支出7,071百万円、配当金の支払額157百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月15日付「2026年３月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,134,953	3,377,740
売掛金	4,364	677
販売用不動産	11,373,317	13,939,507
仕掛販売用不動産	4,214,822	4,155,865
前渡金	2,494,820	2,298,683
その他	925,734	1,027,359
貸倒引当金	△187	△310
流動資産合計	22,147,825	24,799,522
固定資産		
有形固定資産	34,215	30,536
無形固定資産	4,820	1,868
投資その他の資産		
投資有価証券	3,970	906
敷金	48,063	48,229
出資金	22,910	25,010
繰延税金資産	16,137	48,642
その他	27,722	27,815
貸倒引当金	△2,500	△2,500
投資その他の資産合計	116,304	148,102
固定資産合計	155,339	180,506
資産合計	22,303,165	24,980,029

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
短期借入金	62,000	21,000
１年内償還予定の社債	120,000	120,000
１年内返済予定の長期借入金	5,296,113	8,341,178
リース債務	2,472	2,512
未払法人税等	132,790	364,277
未払消費税等	56,472	82,262
賞与引当金	－	33,715
その他	535,396	471,019
流動負債合計	6,205,244	9,435,964
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	11,747,801	10,772,228
リース債務	4,213	2,947
役員退職慰労引当金	177,500	197,938
その他	753	281
固定負債合計	12,030,269	11,073,395
負債合計	18,235,513	20,509,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	938,375	938,375
利益剰余金	3,866,119	4,269,230
自己株式	△816,934	△816,934
株主資本合計	4,067,559	4,470,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	△2
その他の包括利益累計額合計	91	△2
純資産合計	4,067,651	4,470,668
負債純資産合計	22,303,165	24,980,029

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,660,488	10,524,345
売上原価	6,968,576	8,278,703
売上総利益	1,691,912	2,245,641
販売費及び一般管理費	999,368	1,023,700
営業利益	692,544	1,221,941
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,101	4,120
受取賃貸料	9,512	1,473
信用保証料	1,841	4,356
その他	1,546	1,798
営業外収益合計	16,001	11,748
営業外費用		
支払利息	103,756	235,191
融資手数料	68,637	96,387
その他	5,984	9,242
営業外費用合計	178,378	340,821
経常利益	530,167	892,868
税金等調整前中間純利益	530,167	892,868
法人税、住民税及び事業税	190,538	364,277
法人税等調整額	2,852	△32,452
法人税等合計	193,390	331,824
中間純利益	336,777	561,043
親会社株主に帰属する中間純利益	336,777	561,043

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	336,777	561,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△93
その他の包括利益合計	46	△93
中間包括利益	336,823	560,949
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	336,823	560,949
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	530,167	892,868
減価償却費	5,817	5,979
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	17,114	20,438
賞与引当金の増減額（△は減少）	46,878	33,715
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,702	122
家賃保証引当金の増減額（△は減少）	660	－
受取利息及び受取配当金	△3,101	△4,120
支払利息	103,756	235,191
融資手数料	68,637	96,387
売上債権の増減額（△は増加）	565	3,686
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,730,266	△2,507,364
前渡金の増減額（△は増加）	△73,467	196,137
未払消費税等の増減額（△は減少）	△33,888	25,790
その他	△348,436	△183,534
小計	△3,418,264	△1,184,702
利息及び配当金の受取額	3,101	4,120
利息の支払額	△108,120	△244,000
法人税等の支払額	△288,975	△132,790
法人税等の還付額	－	30,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,812,259	△1,527,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△290	△1,201
出資金の払込による支出	－	△2,100
敷金の差入による支出	△3,347	△165
その他	△2,192	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,829	△3,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	19,092	△41,000
長期借入れによる収入	9,169,767	9,141,050
長期借入金の返済による支出	△5,669,400	△7,071,558
リース債務の返済による支出	△1,189	△1,226
配当金の支払額	△157,932	△157,932
融資手数料の支払いによる支出	△68,637	△95,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,291,699	1,773,488
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△526,389	242,787
現金及び現金同等物の期首残高	3,728,290	3,134,953
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,895	－
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,205,796	3,377,740

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの報告セグメントは、「不動産ソリューション事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

Ⅰ　前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の総額（千円）	配当の原資	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2025年６月27日定時株主総会	普通株式	157,932	利益剰余金	123.00	2025年３月31日	2025年６月30日

Ⅱ　当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の総額（千円）	配当の原資	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2026年６月26日定時株主総会	普通株式	157,932	利益剰余金	123.00	2026年３月31日	2026年６月29日

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。